

# 神様転生記

勸酒

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## あらすじ

この物語はひよんなことから転生した一人の男の奮闘劇である。

# 目次

転生編

一話

---

1





ああうたたくよーただえさえクソ暑くてイライラしてんのになんでダミ声のフルコーラス聞かなきやいけねえーんだよ？あんまりうつせえーから靴投げちまったじゃねえーかよ。これで目出度くまた海鳴りの近所の主婦たちに白い目で見られるわ。ほら見てるもの、その奥さんに見られてるもの、あそこのママ友の集まりの主婦さんたちにヒソヒソ話されてるもの、あつちの子供を幼稚園に送っているママさんにも可哀想なものを見るような目で見られているもの。

「ママあそこのお兄ちゃん何してるの？」

「シツ!!見ちゃダメよマー君」

ササツ、

ちよと待つてよ!??俺が何したよ!??お願い待つて!!目があつたからってそんなに走って逃げるように行かないで!!それビミョーに傷つくから!!具体的に言うて夜ふとした時に思い出して枕を涙で濡らしちゃうレベルだから!!ちよと待つて!!待つてよマー君!??

「ハハアツ、何時もこうだよ俺が何したってゆうんだよ。」

そう、この光景は別に珍しいものじゃない。

最早この海鳴りでの俺の対応などジャン○の後ろの方に追いやられ、お情けで存続させてもらっている作家のようなものだ。読者からは「あれ、まだ居たの。」などと言われ、担当者からは「そろそろ新しい可能性も探ってみようか」なんていう打ち切りの雰囲気を出されている哀れな売れない作家さ、でもよー俺が悪いのかよ確かに最初方に飛ばし過ぎて後からネタ無くなってきたよ？ それでもさー頑張ってきたじゃん。三年もやればスゴイじゃん。あの移り変わりの激しいジャン○で三年持たせたんだぜ、ちよつとぐらい愛着あつてもいいじゃん!!それを「まだ居たの？」だ、「そろそろ新しい可能性も探ってみようか」だ、好き勝手言いやがつてよー!!こちとら後ろの方でも頑張つてんだよ!!新しいネタだつて考えてるんだよ!!俺だつて前の方に返り咲きてーんだよ!!でも全然うけねーんだよ!!それをさー心無い言葉で傷つけてよー、そんなに言うんなら打ち切りにしたきやすればいいだろ!!?俺だつてそんなに言われて嫌々やりたくねーよ!!?こちとら豆腐メンタルなんだよ!!。

．．．でもやっぱり打ち切りにしないで、生活出来なくなっちゃうから。ナマ言っ  
てスンマセンした!!。

．．．  
て、違う違う脱線し過ぎた。とりあえずまあ俺こと市川太郎の海鳴りでの扱いについ  
て分かってもらえたと思うけれど何でこんな扱いになつたかは次の話に持ち越しにし  
てもらう。そこで全てを話すよ。

．．．  
ああ、あと一つ大事なことを言わなきゃ、俺こと壬生太郎は実は異世界に迷いこんだ  
哀れな一人の男だつてことを。